

# 来年1月11〜12日

## 新春文紙フェアの概要発表

ステーションナリー情報委 出展する。

会場は、1階が受付、2〜4階は展示会場。レイアウトは、感染防止の観点から、各階の入口・出口を区分し、会場内を二方通行とし、展示ブースの小間は壁面パネルを使用せず、対面式レイアウトを採用。また、換気のため窓を常時開放し、空気を清浄および扇風機を設置する。

今回もコロナウイルス感染防止対策を徹底して実施。開会式および閉会式をアナウンスで行い、クローク預かり・

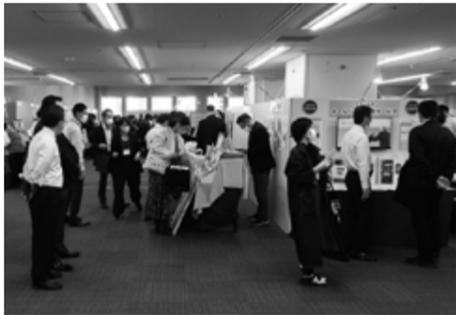
# 多彩に新規商材提案

エコールバラエティフェア西日本

## HP作成サービスも紹介

エコール流通グループ株式会社(一ノ瀬社長、東京都)は、11月15日、大阪・中央区の天満橋のOMビルで、2022エコールバラエティフェア西日本を、感染防止対策を講じると共に、会場規模を十分に縮小して開催、関西エリアの販売店を中心に187店舗249人が来場、終日熱心な商談が行われた。

感染対策のため開会式と閉会式を行わず、開会時は一ノ瀬社長が「大阪の見本市は5月と11月の年2回開催している。9年前に東光通商のフェスタを引き継ぎ、バラエティフェアとして開催、秋の開催は今年で8回目となる。関西での見本市が定着してきたのも出展社の協力・支援の賜物と感謝している。新東光通商は8月1日に社長を交替し、3代目となる樋口聡が副社長に就任したと、樋口副社長を紹介。続いて、「来場者数は販売店、取引先を中心に156社、254店、310人、売上目標は7000万円を予定している。売り上げを伸ばすためには営業力と任



終日熱心な商談を展開したフェア会場

掛けつくりがカギとなる。初期費用や月額費用を安価に抑えた「ホームページ作成サービス」をはじめ、販売店の売り上げに寄与する新商材や支援ツールを豊富に揃えて提案している。各ブースで十分な商品説明を行い、リアルな良さを発掘してほしい」と館内アナウンスで挨拶した。

会場には65社が出展、生米・春商戦に向けて、新製品や売れ筋商材を紹介。エコールが提案する新規商材では、地域産材の活用が自治体からも注目されている「木のオータミ家具」、工事不要で原状回復

「第26回文紙フェア大賞コンテスト」は、1階に展示コーナーを設けて、来場者および出展社の投票により金賞・銀賞・銅賞それぞれ1社を表彰。表彰式は会期2日目の午後3時から展示コーナーで行う。

開場時間は初日の11日が午前9時半〜午後6時(5時半受付終了)、12日は午前9時半〜午後4時半(4時受付終了)。開会式は11日午前9時25分から、閉会式は12日午後4時半から、いずれもマイク挨拶の形式で行う。

【出展社】

## 書き方ライブラリー

### 「ココヨWEBメディア」を開発

ココヨ株式会社(黒田英邦社長、大阪市)は、個人が自らの関心事や悩みをシリングに役立つ書き方を探して知ることでできるWEBメディア「ココヨ」を開発した。

ココヨ株式会社(黒田英邦社長、大阪市)は、個人が自らの関心事や悩みをシリングに役立つ書き方を探して知ることでできるWEBメディア「ココヨ」を開発した。



「ココヨ」を開発したココヨ株式会社

あかしや、アスカ、アツクスコトボレーション、アルテ馬印、エスアイアインジャパン、エンゲルス、オート、オート工業、オルファ、カクケイ、北星鉛筆、木野瀬印刷(新規出展社)、共栄ラステック、クルリス、呉竹、春巻紙製品工業、コレクト、ササガワ、サンビー、シード、新朝日コーポレーション、Spring of Wonder、セメタイン、デビカ、寺西化学工業、東京画紙製作所、トヨヨー、長岡屋商店、西敬、日本理化学工業、ニュークイン、ハヒラ、ハリマウス、光、ヒサゴ、ヒノデフン、ヒュートンジャパン、不易糊工業、ベロス、マグエックス、ミツヤ

「無限水のレンタルサービス」は、空気をミネラルウォーターを作り出す特許取得のサービスで、店舗に設置するだけで、店内の空気を浄化し、加湿効果も期待できる。また、水の消費量が非常に少ないため、コスト削減にも効果的。



得のサービスで、店舗に設置してミネラルウォーターを供給することで集客・収益向上に貢献。また、店のイメージ向上にもなり、災害時の給水サービスにもなる。

記者会見で、一ノ瀬社長は「ホームページの作成サービスは東京での大見本市でも紹介しているが、PR不足もあり、十分に伝えられなかった。コロナ禍でインターネットの活用は拡大している。ホームページがないと、ネット経由の問い合わせに対応できない。開設されていない販売店には是非とも活用願いたい」と語った。

また、西康広見本市実行委員長は「来年、LINEがヤフーと連携してLINE対応のECサイトを開設することを発表するなど、店頭販売を取り巻く環境は厳しさを増すと思う。新規商材やソリューションの提供を強化して、販売店を支援していききたい。メーカーと小売店のハブになる御問屋の役割は大きい」と話した。



新東光通商・樋口聡副社長

新東光通商株式会社代表取締役副社長に就任した樋口聡氏は、1961年5月12日生まれ、61歳。1984年ココヨマーケティングの前身の大阪ココヨに入社、ココヨ近畿営業部長を務め、今年8月に入社、副社長に就任。

ココヨマーケティングでは営業畑を歩き、ココヨS&Tでは店頭店、納品店を担当してココヨ製品の拡販に尽力した。出身地と現住所は、東大阪市の八戸里。趣味は水泳。新東光通商は、文紙営業部とラフィナー事業部。

## 関東物流センターを移転

### 〇：シヨワフット

発想のために活用する「インクのにじみを楽しむ」「育児日記に思い出を残す」など、多くの人が「書く行為」を通じて人生の豊かさを感じている、ことがわかった。

ココヨ書き方ライブラリーを通じて、ココヨならではの強みである様々な種類のノートと「その使い方を通して『書く行為』を盛り上げていく。同サイトでは、「書く行為」がさらに楽しくなるように、個人が持つ関心事や書きたいことを手書きするための「書き方」を提案することによって、人々が自分の人生をより豊かに感じられる世界の実現を目指す。また、LINEアカウントを併設し、寄せられた質問や疑問に答えるコンテンツを企画するなど、WEBメディアの枠を超えたユーザーとの双方のコミュニケーションにも挑戦している。

シヨワフット株式会社(中条宏幸社長、東京都)の関東物流センターは、常陸市市菅生町のココヨサテライトシステム株式会社茨城配送センターに移転する。稼働は来年1月4日の予定。

北村初子さん(宇治市・有限会社キタムラ北村建設社長ご厚意)は、11月3日に逝去した。享年99歳。

11月4日に通夜、5日に葬儀を宇治市のカゴツツホールで、親族のみの家族葬により執り行われた。

故人はキタムラ文具店のシンボルの存在として、来店客に親しまれていた。

貼るって、こんなに変わる。

# GLOC

